

NPOが挑む！

まちなか連携室

福島県

しらかわ在宅医療拠点センター

NPO法人

しらかわ市民活動支援会とは？

公設民営のボランティア団体です



マイタウン白河
my town shirakawa

川崎洋装店

諸派 いげばな展

お祭り

マイタウン白河

マイ



しらかわ
救急情報
センター



2013/01/19 16:39

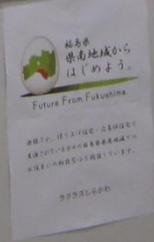
復興さくらバッジ

福島県県南地方
定住・二地域居住相談所
ラクラスしらかわ

福島県県南地方
定住・二地域居住相談所
ラクラスしらかわ



NPO 白河ふるさと回帰支援センター



2013/01/19 16:38

お住まいの相談窓口開設中



しらかわ・市民放射能 測定所 「バク知る」

バク知る
稼働中です

種神かすみ監督作品
内部被ばくを生き抜く

白河上映会
主催：白河市民会館
日時：2013年1月16日（月） 成人の日
会場：白河市民会館 大ホール
入場料：無料
詳細は白河市民会館までお問い合わせください。
特に小学生、高校生、父母に読んでいただきたい内容です。

2013/01/19 16:39

NPOとしての活動の原点

地域づくり

地域住民のための活動

市民活動団体への支援

医療・福祉の分野を積極的に活動してきた

どんな活動してるの？

旧市街地が国道294号線沿いにあることから



ふくし

294委員会

障害者を自立させ街に出そう！

日本赤十字社福島県支部
白河市地区

日本赤十字社福島県支部

科科

7/14

員会)

以外に
5/15

OUTERED
OUTERED
OUTERED
OUTERED

無料
健康相談

BENETTON
FORMULA





日本赤十字社 福島県

旅館

Betty's Cafe

日本赤十字社

旅館

100%

赤十字

赤十字

AD PHILIPS







道の日クリーンロード キャンペーン

くじ 1回
100円

フランクフルト
100円

REALIZE
OUR
DREAMS
294





全国頸髄損傷者連絡会 “交流のつとめ” 福島大会を支援

テーマ「重度障害者の自立・地域で生きる」

2008. 7. 19 ホテルサンルート白河





重度障がい者施設への支援

独居老人の看取り不安を解消

在宅あんしんネット委員会

参加者

**消防署、市町村、県南保健福祉事務所、
医師会、社会福祉協議会、民生委員、NPO、
介護支援専門員、など**

登録しませんか？

在宅あんしんカード

— あなたを守る地域のつながりをつくります —



さ
な
け
り
や
い
い
な
ま
い
ら
し
ん
カ
ー
ド

げんき！

いまは...
でいるけれど

備えあれば
憂いなし

「在宅あんしんネット委員会」構成団体

白河市・白河市社会福祉協議会・福島県南保地区消防本部
白河市民生児童委員協議会・白河市地域包括支援センター・福島県南地域介護支援専門員協会
(社)白河医師会・NPO法人しらかわ市民活動支援会

お問合せ：NPO 法人しらかわ市民活動支援会 TEL/FAX 0248-31-7595

2013/01/20 16:02

在宅あんしんカード

580名を登録

在宅あんしんカード					
登録番号			(年 月 日 作成)		
ふりがな				明治	年 月 日生
氏名		男	生年月日	大正	
		女		昭和	
郵便番号			電話番号		
住所					
かかりつけ医					
			電話		
注1 連携往診医					
			電話		
注2 訪問看護ステーション					
			電話		
注2 介護支援専門員					
			電話		

※注1: 記入の必要はありません。

注2: 民生員の方は記入の必要はありません。

高齢者、障がい者の送迎や緊急時の対応

みんなの交通システム研究会

参加者

消防署、市町村、県南保健福祉事務所、

医師会、社会福祉協議会、民生委員、NPO、

白寿会、など



平成22年10月18日 鳥羽駅



第6回
オンデマンド
交通カンファレンス

Toko Hotel INTERNATIONAL





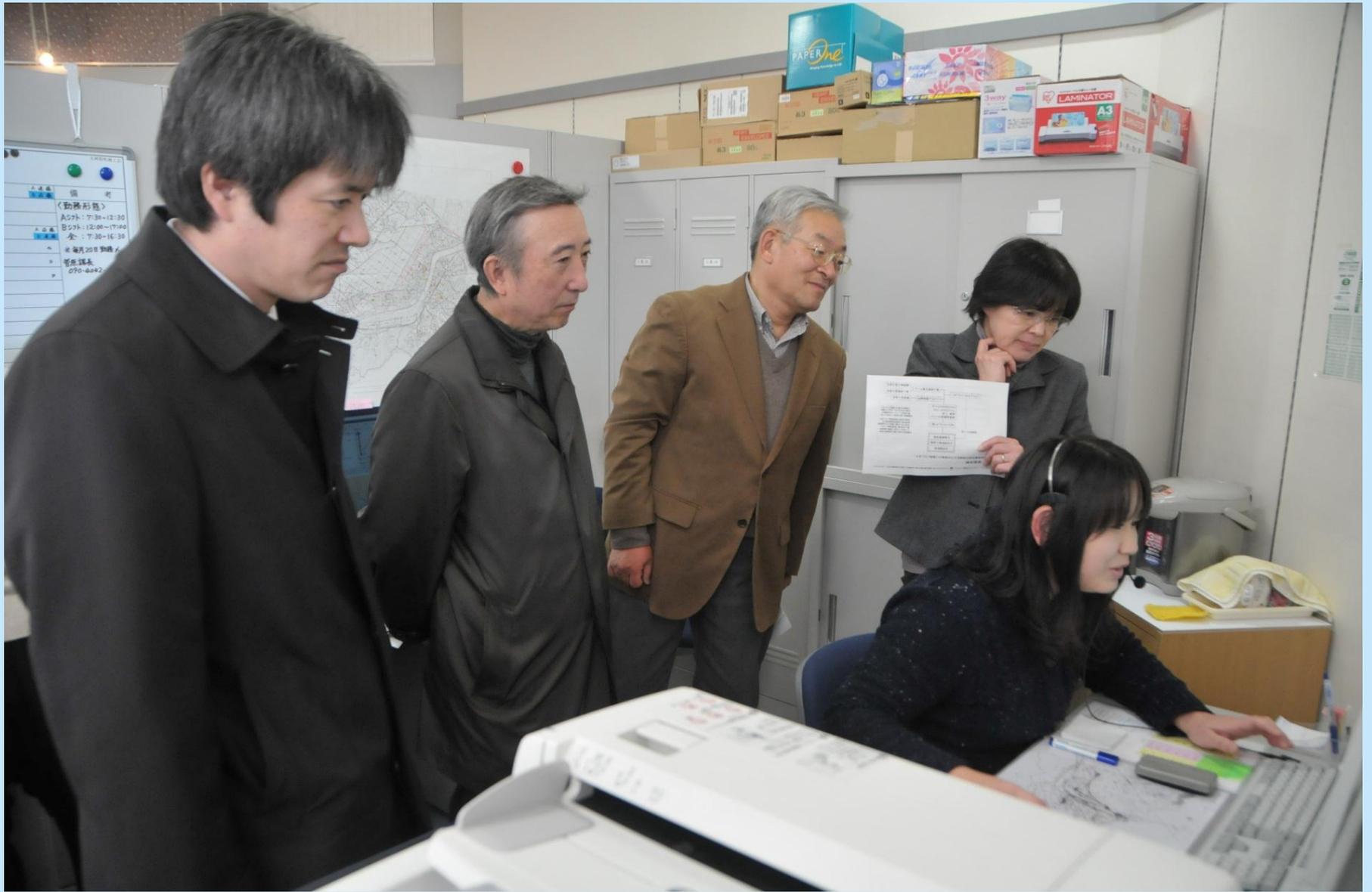
玉城町のデマンドバス



平成23年1月27日 みどり市視察



平成23年1月27日 みどり市での説明会



平成24年11月28日大河原町視察

しらかわ救急情報センター

日曜祝日の救急医療の電話相談案内

午前9時～午後5時



しらかわ救急情報センター（平成15年～）

他には？

子育て支援

おひさまひろば

ボランティア養成

病院ボランティア

マイタウン運営

などなど



☀️ おひさまひろば

利用時間

木・金・土曜日

10:00～16:00









ここから本番！

福島県

しらかわ在宅医療拠点センター

平成24年度 活動内容

スタッフ構成

在宅療養支援診療所

医療ソーシャルワーカー

ケアマネの資格を持つ看護師

看護師

看護師

看護師

しらかわ在宅医療拠点センター

顧問ボランティア

穂積医院

社会福祉士

事務長

事務員

事務員

薬剤師

穂積彰一

岡崎隆史

藤田真千子

服部幸子

有賀啓子

関 直子

降矢柊美

五十嵐佐知子

瀬戸千代美

富永 章



拠点事業のスタッフ



7月19日 第1回合同会議



8月1日 第2回合同会議



9月20日 第3回合同会議



10月24日 第4回合同会議



平成24年12月19日 第5回全体会



平成25年1月9日 第6回全体会議

まずは顔の見える関係づくりを

訪問した事業所

総数

267ヶ所

包括支援センター	5	居宅介護事業所	39	訪問事業所	27
訪問看護ステーション	6	介護老人保健施設	6	介護老人福祉施設	7
小規模多機能型居宅介護事業所	3	短期入所生活介護施設	14	短期入所療養介護施設	6
認知症対応型通所介護施設	3	通所介護施設	19	訪問リハビリテーション	3
通所リハビリテーション	3	訪問リハビリテーション	3	福祉用具販売事業所	10
福祉タクシー事業所	6	各種障がい者支援事業所	102		



介護事業所訪問



介護事業所訪問

しらかわ訪問看護
ステーション



介護事業所訪問

多職種への連携づくり

在宅医	7月25日 8月21日 9月20日 11月21日12月19日	県医師会	12月5日
勤務医	7月25日 9月20日 9月22日 11月21日	県南保健 福祉事務所	7月25日 11月21日 12月6日
歯科医師	8月1日	市町村	7月25日 8月21日 11月21日 12月7日
薬剤師	7月25日 12月13日	社会福祉 協議会	7月25日 10月11日 11月21日
介護支援 専門員	2月16日	包括支援 センター	7月25日 10月18日 11月21日 12月21日
訪問看護 師	7月25日 8月30日 11月15日 11月21日12月19日 1月23日	介護職員	11月15日 12月6日
訪問 介護士	11月15日 12月13日	障がい者 相談員	8月21日



8月30日 訪問看護ステーション連携会議



7月25日 地域医療連携会議（白河厚生総合病院）



在宅医療連携拠点事業を説明



勤務医からの質問を受ける



8月1日 歯科医師会との連携会議



9月22日 緩和ケア研修会（白河厚生総合病院）



10月18日 西郷ケアマネ研修会（西郷保健センター）



11月15日 褥瘡・ストーマケア研修会



11月15日 褥瘡・ストーマケア研修会



11月21日 地域医療連携会議



11月21日 地域医療連携会議



平成24年12月13日 薬剤師との交流会



平成24年12月13日 薬剤師との交流会



平成24年12月19日 在宅医と訪問看護師の集い



平成24年12月19日 在宅医と訪問看護師の集い

在宅の問題点

・状況の判断必要

・療養HPがない → 必要 (レスピイトのあり)

・PEGは減っているがCUポートが増えている
 若宅医負担大きい

・初めのころの思いが仕切らない → 家族の思いがある → 時間がかかる

・経過が長いと思えば 救急車を呼ぶFA

・DIU不用時誰がFAに話すか → 市民啓もう必要 → 延命治療の是非

・HPでCUポート挿入されて退院する → HPでのDnのECの問題

・FAの希望 DIUがともた不足でできない → タイミングが合わない

・QHのSC時ヘルパー研修不足

・退院后病棟Npが在宅訪問には → サリ-で病棟へ伝えたい

・ターミナル期の退院時期

・家族の介護負担が大きい (在宅介護難しい例もあり)

・在宅医の育成

・HPでの退院支援

・家族

・バックベツト

・66歳に訪方の認知症? → 認知不足

・Npの人数不足

・死を分け入らないFAが多い

・在宅で看取りを分かちあえないFAがある

・在宅のみの医院があると良い (複数医必要)

・訪方不足 → 実態知らない
 (Np不足)

医師会での
 紹介状の
 送り分け
 忘れっぽい
 文化
 2020年
 14月12日



平成24年12月21日 各包括支援センターとの交流会



平成25年1月16日県と市町村との会議



平成25年1月23日多職種リーダー研修会

地域住民に対する啓発活動

7月28日	新聞掲載 福島民報社 県内発行部数 250,000部
8月1日	白河市「広報」に掲載 市内全戸20,000戸
8月20日～	しらかわ市民活動支援会のホームページに掲載
9月6日	チラシ配布 市内全戸配布20,000部
9月10日	しらかわ市民活動支援会機関紙 「ニュースレター」に講演会開催を掲載
9月28日	講演会開催 白河市立図書館にて



身近な情報をお知らせください

- 富岡支局
- 浪江支局
- 本宮支局
- 田代支局
- 石川支局
- 棚倉支局
- 須賀川支社
- 白河支社
- 郡山市
- 桑野二丁目三十七番
- 白河一丁目二〇番
- 須賀川市堀底町七番
- 須賀川市南町一七五番
- 棚倉市南町一七五番
- 石川町里字本宮五五番
- 三春町中町六一二番
- 本宮市本宮字塩田八七番
- 郡山市桑野二丁目三七番
- いわき市平字一丁目一七番



在宅医療の相談先として開所したセンター

しらかわ在宅医療拠点センター開所
穂積医院2階「気軽に相談を」

在宅医療の悩みに応える「しらかわ在宅医療拠点センター」はこのほど、白河市中町の穂積医院二階に開所した。

厚生労働省の在宅医療連携拠点事業としての取り組みで、NPOのしらかわ市民活動支援会（和知延理事長）が運営している。スタッフは医師、看護師、ソーシャルワ

ーカー、事務職員など十人。生活の質を落とさず、住み慣れた家での在宅医療を希望する患者の相談に応じる。

時間は午前九時から午後五時までで、無休とする。相談料無料で、相談の電話は0248(29)8275。センター代表の穂積彰一医師は「気軽に相談してほしい」と呼び掛けている。

16日の「浅川の花火」
円滑打ち上げへ協議

を確認、警備態勢や交通対策などを話し合った。

浅川の花火はお盆の

いであい
員に委嘱





在宅医療を考える
在宅緩和ケアの看護と介護の実際
～ その看取りまで～

YMG訪問看護ステーションサービス
訪問看護ステーションサービス
石口房子

2013年9月20日NPO法人白河市民活動センター
白河市民活動センター 白河市民活動センター

9月28日 講演会（石口房子訪問看護師）白河市図書館



9月28日 講演会（石口房子訪問看護師）白河市図書館

復興支援



災害時救急器具



10月15日 AED実習説明会



12月6日 被災者（浪江町）の健康相談



12月6日 被災者（浪江町）の健康相談



12月6日 被災者（浪江町）の健康相談

一般市民や事業所からの相談事業

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
相談 件数	2	11	14	8	3	1

毎日 午前9時～午後5時

時間外は留守電で対応

相談内容

* 入院中だが、退院後の生活が心配（特に高齢者の2人暮らし）
（老老介護・施設の紹介を希望）

* 入院中だが、退院後の在宅医がいなかったらどうするか心配
（在宅医の紹介を希望）

* 施設に入所したいが空きがないといわれた。
高齢のため在宅介護も難しい（施設紹介を希望）

* 在宅でいるが、急変時に希望の病院に入院できるかどうか心配
（再入院の際の病院を心配）

* 看護師が不足している。なにか補充とか方法はないか
（看護師の紹介を希望 * ハローワークも困難）

* 食事が摂取できないくらいでは、入院はさせてもらえないという
心配

当センター看護師による訪問看護

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪問 件数	0	4	9	14	9	1

男性6名 女性7名

無料提供による問題もあり

社会福祉協議会の被災者相談員からの依頼

56歳 女性

南相馬からの避難者 夫と二人暮らし

8月31日午後眩暈、吐き気、体動困難あり、救急車で入院
その後拒食、体動困難続き相談を受ける。

9月3日杜協の人と一緒に往診す。（ひきこもり傾向あり）

ケアマネからの依頼

79歳 女性

8月28日拠点センターで相談を受ける。

自宅で転倒し入院中。精神疾患をもつ息子が在宅での介護をするが、**経済的な理由**もあり、留守中の介護サービスを受けて欲しいとのこと。

9月3日退院時サービス担当者会議（8名出席）を開催しケアプランの確認をする。

翌日夕方急に暴れ、往診を依頼される。その後息子に何度も電話で呼ばれ、**看護師を派遣**しながら往診した。

（**往診12回その内緊急往診3回、夜間1回**）

9月15日**腎不全で亡くなる**。

危篤になったとき東京から娘と兄が来て、**感謝された**。

ケアマネと家族からの依頼

90歳 男性

脱水で入院中、摂食障害で9月24日胃瘻を増設したが、奥さんが激怒し勝手に退院したという。

息子が持て余す母親に困って、ケアマネと一緒に拠点センターに相談に来た。

6回往診したが、急に連絡なしに別な病院に入院し、翌日亡くなられた。

息子からは感謝の電話があった。

ケアマネからの依頼

77歳 女性 認知症

4日前から全く飲み食いをしていない。夫と二人暮らしだが奥の部屋に引きこもっているので、往診をしてほしいと拠点センターに依頼がくる。

昨年1月から軽い認知症になり、3月から6月までアリセプトを処方されていた。

9月まで比較的元気だったが、風呂場で倒れてから認知症が進行した。10月12日往診し点滴したが、翌日看護師を派遣したところ、血圧が低下し救急車を要請して入院させた。

翌日病院で亡くなった。

後日夫が挨拶にきて感謝された。

ケアマネからの依頼

90歳 女性 胃がん末期

平成24年2月27日胃がんの手術をしたが膵臓に浸潤していたため対症療法にとどめた。

横浜で看護教員をしている娘が在宅でみたいと退院させていた。

10月12日ケアマネから「ぐったりしているので往診をしてほしい」と拠点センターに依頼される。

早速往診し、栄養剤を静脈注射したところ、しばらく軽快し落ち着いていた。子供が「おばあちゃん、死んじゃうの？」と言ったところ「死ぬもんか」と言って返した言葉が強烈でした。

10月23日急変し往診したが、**家族に囲まれて24日永眠した。**

娘からはたいへん**感謝された。**

家族からの相談

95歳 男性 直腸癌 嚥下障害 認知症

父親が入院中、息子が拠点センターに相談にくる。
食べられなくなったがCVポートも拒否し自宅へ帰りたい
という。

10月20日帰宅後往診したところ、比較的元気で
「俺の息子は世界一だ」と大声で話していた。
25日早朝ヘルパーから連絡を受け死亡を確認した。
嫁さんと一緒に死後の処置をする。

家族からの依頼

84歳 男性 脳出血

10月21日トイシで倒れ、救急車で入院したが点滴治療で軽快し異常ないと言って帰されたが、翌朝から記憶がなくなっていたり、37度あって食事もとれないということで妻から往診を依頼される。往診時、特に麻痺もきていなかったが、翌日CTなどをとって診てもらおうように勧めた。

翌朝、調子が戻って食事をした時に急に倒れ、救急車を呼んだが、**たらい回し**され郡山の病院に運ばれ脳出血の診断を得て元の病院に戻された。（**翌日病院の地域連携室に行き真相を究明した**）

ケアマネからの依頼

98歳 男性 肺気腫 肺炎加療後 左大腿骨頸部骨折
仙骨部褥瘡 前立腺肥大症

10月18日病院からの情報提供書と一緒に紹介される。
留置カテーテルの管理のために紹介されたが、往診後、在宅酸素療法管理の方が重要と考え、**鈴木ホームクリニックに紹介し、二人主治医制とした。**

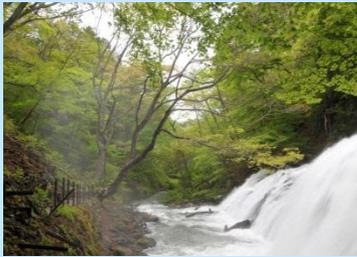
地域連携室からの依頼

82歳 女性 肝性脳症 肝細胞癌 肝硬変 糖尿病 慢性腎不全

16回も入退院を繰り返し、**8回救急車**を利用している患者で在宅での加療を連携室から依頼され、9月22日、院内での退院時カンファランスに同席した。10月2日退院後拠点センターから**看護師を派遣**し、昏睡時にアミノレバンを点滴していたが、10月4日全く反応がなくなり、家族の要請で救急車で入院した。

その時はもう助からないだろうと家族に話したが、元気に退院し再び在宅でのケアを続けることになった。家族は不安なため度々拠点センターに連絡が入り、その都度対応してきたが、ようやく**週3回の訪問看護を依頼**できることになり、落ち着いて在宅生活をしている。

在宅医療・福祉連携ガイド



厚生労働省在宅医療連携拠点事業
NPO法人しらかわ市民活動支援会
しらかわ在宅医療拠点センター

市町村への提言

1	この事業を継続するために市町村の協力をお願いしたい
2	すでに白河医師会の理事会において承認されているので、医師会との契約をお願いしたい
3	市町村は行政の役割として拠点事業での様々な問題について適切に指導していただきたい
4	拠点事業における市町村の担当者を一本化していただきたい
5	拠点事業が経営的に継続できるように核となる複合型サービス（小規模多機能型居宅介護+訪問看護）を設置してほしい
6	24時間体制で医療、介護サービスができる在宅医療を促進させるために、保険でタクシー利用ができるようにしてほしい



ご清聴ありがとうございました